

(様式) 令和6年度都立鷺宮高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	知識・技能の習得	・年度当初の教科会で指導計画・指導事項について共有・確認。 ・定期的な小テスト等を通じて知識の定着を確実に図る。	大学入試の過去問や演習問題を用いて、大学入試に対応できる実践力を養う。
社会	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・大学入試共通テストの問題分析会を実施 ・論理的に考察する活動を重視した授業を実施	「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
数学	知識・技能の確実な習得	小テストを単元ごとに実施。課題としてワークの基礎問題を課し、考査にもその問題と同等の問題を出題する。	ワークの発展問題についても選択的に取り組ませる。考査でも、入試問題等、思考力を伸ばす問題を出題する。
理科	自然の事物・現象についての法則を理解する。	積極的に日常生活で体験している事項について科学的に分析・解明する態度を醸成する。	入試問題等の解答に至る過程を振り返り問題解決能力の向上を図る。
保健体育	生涯スポーツの実践者の育成	・輪番による授業案の作成と授業の実施 ・授業ごとの反省と課題の探求	各種目の最新技術の探求と国際大会等の映像視聴
芸術	「主体的・対話的で深い学び」の充実	授業内発表会、作品展示を実施	創造的な表現を工夫し、多様な観点から芸術に対して主体的に関わりをもつ授業の実施
英語	4技能を意識して主体的に取り組む基礎力を作る	・リーディング活動の中にコミュニケーション活動を活発に行う。 ・リスニングスキルを上げるため、リスニング演習を行う。 ・ライティング活動を行う。	・ネイティブとのグループ活動などを積極的に行う。 ・生徒たちのレベルに応じて、Essayライティングを行う。 ・英語によるプレゼンテーションを行う。
家庭	自立した生活を営むために必要な学習活動の充実	・実践的体験的な学習活動を充実させる。 ・調べ学習、発表等、自ら考え、課題を解決していく活動を取り入れる。	ホームプロジェクト活動の実施を推進
情報	Society5.0を生きる力の育成および「問題解決」型実習の充実	・教科書選定時に問題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・民間補助教材を導入し、実践的な問題解決を題材とした実習教材を導入 ・グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	・プログラミング能力検定試験に挑戦 ・プログラミングやデータサイエンスなどの分野を、オンライン学習教材を用いて、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習